

市内バスネットワーク維持に向けた取組みについて

1. 前回協議会以降の各路線の動き

1.1 ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線

- ・第9回三者協議(2月28日)@生駒市図書会館

【地域の参加者】13名(対象自治会:ひかりが丘、北田原町、西白庭台1丁目、2丁目、3丁目、上町台、白庭台、あすか野、あすか台、上町、小明町、辻町)

【内容】新たなコアメンバーで再スタートし、これまでの経緯と路線の現状、取組みの紹介、各参加者の自己紹介(バスの使い方、やりたい取組みなど)を行った。

【資料3-2】ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第9回三者協議ニュース

1.2 北田原線

- ・第5回三者協議(12月19日)@南田原町集会所

【地域の参加者】17名(対象自治会:北田原町、南田原町、星和台)

【内容】自治会ごとのグループにわかれて、「北田原線沿線おでかけマップ」案の確認や現地確認の方法などを協議した。

【資料3-3】北田原線 第5回三者協議ニュース

【資料3-4】北田原線沿線おでかけマップ

- ・自治会ごとに「北田原線沿線おでかけマップ」の現地確認を実施。(1月4日 北田原町、1月23日 南田原町、1月29日 星和台)
- ・「北田原線沿線おでかけマップ」は4月以降の配布を予定。

1.3 富雄庄田線

- ・利便増進計画の策定に向け、2月20日に第3回分科会を開催。【詳細は、1 報告案件(4)にて説明】

2. 利用促進の取組報告

2.1 ふれあいサロンひかりが丘での利用促進ちらし配布【2月12日】

- ・ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線の三者協議で出たアイデアをもとに、バスを使ったおでかけプランを記載した利用促進ちらしを作成し、2月12日の「ふれあいサロンひかりが丘」において参加者へバス利用のよびかけを行った。

【資料3-5】バスでおでかけしてみよう！ちらし



2.2 いこまバス×ロゲイニング【2月23日(日)】

- ・路線バスを使って制限時間内に市内に設けられたチェックポイントを巡り、獲得した得点を競うイベントを開催。
- ・イベントの申込者はファミリーの部 60 人(定員40人のところ、好評により追加募集)、一般の部 33 人。当日の参加者はファミリーの部56人、一般の部33人となった。
- ・設定したチェックポイント数は100箇所。制限時間の5時間内に参加者が行ったポイント数は最多で41箇所、平均22箇所。(ファミリーの部の平均19箇所、一般の部の平均25箇所)



・参加者に対して実施した主なアンケート結果は次のとおり。

・イベントの満足度について

→「とても楽しかった」、「楽しかった」96.9%

・また参加したいと思うか

→「ぜひまた参加したい」「また参加したい」96.9%

・イベントを通じてバスが身近になったか

→「とても身近なものになった」「身近なものになった」75.0%

・今後バス利用をどう考えるか

→「普段の移動にバスを利用したい」「時々バスを利用したい」84.4%

・参加者の居住地

→市内 50.0%、奈良市など県内 12.6%、県外(主に大阪府)37.4%

2.3 公共交通マップの作成

・発行の時期を、富雄庄田線の再編(令和7年10月)を反映できる時期に変更。